



夏を楽しむために

みなさんこんにちは。みつばち通信委員の亀浜です。
本格的な夏を迎え、ジリジリと肌を焼く毎日が続いていますが、水分補給や適度な休憩などをしっかり行い熱中症には十分に気をつけましょう。さて、今回は夏のレジャーに起こりえる「火」のトラブルについてご紹介します。

1・カセットコンロの爆発事故

コンパクトで持ち運び易いカセットコンロですが、誤った使い方をしてしまうと重大事故に繋がる恐れがあります。

カセットコンロを覆うような大きな鍋や鉄板を置いて使用しない

鍋や鉄板の輻射（ふくしゃ）熱でコンロ内のガスボンベが加熱され、中の圧力が上昇し爆発する恐れがあります。また、カセットコンロに金網を載せその上で炭を置いて火を起こしたためにガスボンベが加熱され爆発に至ったケースもあります。

2・着火材の使いすぎ、継ぎ足しによる引火事故

バーベキュー用の着火材は誰でも簡単に火が起こせますが、液体の着火材は非常に揮発性が高く引火すると大きな火が上がり爆発する恐れがあります。

必ず適量を守りつぎ足しは絶対にしない

火が弱くなってきたからといって着火材をつぎ足す事は非常に危険です。また、使用後に着火剤のふたを開けたまま火の近くに放置したため引火・爆発した事故もあります。

3・花火による火傷、衣類へ引火事故

夏といえば、お子さんと花火を楽しむという家庭も多いのではないのでしょうか。しかし、毎年7月から8月は、おもちゃ花火の事故が多発する時期です。

子どもだけでは絶対に遊ばせない、水の入ったバケツを用意する

衣類に引火する危険性があります。特に浴衣は綿素材のものが多く、火がつくと一気に燃え広がる可能性があるため、注意が必要です。水バケツは花火を確実に消火するだけでなく、万が一衣類に引火した場合の消火の手助けになります。

その他にも、制汗スプレーや虫除けスプレー、ガスライターや電子機器を火の近くや車内などの高温になる場所に放置していると思わぬ事故に繋がる危険性があります。大きな事故を未然に防ぐ為に、製品を正しく使い、お子さんに「火」の危険性を教え、安全に楽しい夏を過ごしましょう。

参考資料 政府広報オンライン

エネプロの
お客様紹介

さくら

(旧櫻亭)

落ち着いた和風の座敷で地元の旬な食材を使った料理が堪能できるお店です。リーズナブルなランチから本格的なコースメニューまで、記念日・お祝い・接待・宴会などさまざまなシーンに合わせてご利用いただけます。



住所 平良字東仲宗根856-2

電話 0980-72-6729

定休日 日曜日

営業時間 11:00~14:00

17:00~22:00